

ルイスハンミョウ

Cicindela lewisi

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧 I B類(EN)

種の概要

体長15～18mm。上翅は密に顆粒を装い、肩紋は二分されず、中帯紋は太い。色彩は変化があり、黒い固体も出現する。体下面は青緑ないしは青紫色の光沢をもつ。上唇は横に長く、前縁中央がわずかにふくらむ。中脛節の先端半分は密に白色剛毛を装う。河口付近の干潟に生息する。成虫は春から出現し、秋ごろまで見られる。小昆虫や小動物を捕食する。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

高砂市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			○

特記事項

前回のRDB(2012年)改訂以降も記録や情報がまったくなく、生息に適した環境も残されていない。河口や海岸線に発達した泥干潟に生息するため、自然災害や湾岸改修等の影響を受けやすく、生息基盤がきわめて脆弱である。

保護上の留意点

干潟環境の保全